

平成26年度 岡崎保育園 事業報告

平成26年度、入園児童数144名（3月）年間充足率116.3%でした。年度途中よりの保育士確保が難しく、0歳児の入園希望はありましたが、スムーズに受入れができない状況でした。また、一時預かり人数が、昨年度より、増加傾向から、地域の利用ニーズがうかがえます。

保育は、理念や目標を意識しながら、職員一人ひとりの研修を通じての学びを活かそうと、課題を見つけ働きかけたりして、行動にうつす姿が見られました。中堅や与えられた役割を意識し始めたようです。まだ、チーム、組織としての働きは十分ではありませんが、今後の取り組みに力を入れていきたいと思えます。

また、子育て家庭への支援や、園児の交流を通じてたくさんの人とのつながりを大切にしていく中で、よりいっそう幅広い支援活動を継続していく使命を感じました。子ども・子育て支援制度の中において、利用者の支援の充実や、保育所が、地域住民に最も身近な社会資源として、従来から実施してきた子育て支援を拡充・強化していくことを具体的にあげ、中長期計を活かし、研修等で感じたこと、学んだことを共有して、いきたいと思えます。

<保育の理念>

『子どもの育ちを支える保育』

<保育目標>

「笑顔で、楽しく元気で健康な子ども」 「友達と仲良く遊ぶ子ども」

「感じたり、考えたり、工夫したりして、やりぬく子ども」

法人として	重点目標	取り込み内容	事業報告
<p>①保育方針に沿った保育の実践</p> <p>子どもの安全を守るためにリスクマネージャーを養成し、リスクマネージャーから各職員への教育を徹底する。</p>	<p>1. 日々の保育の中で保育の質を高め合う。</p> <p>保育について語り合う場をつくる。</p> <p>もっとよい保育ができるはずと信じて、改善できる点を探し続ける事で保育の質は高まる。</p>	<p>★一人ひとりの子どもの育ちを「できた」「できない」だけでとらえないで、その子の思い、経験、過程を大切にしたらえていく。</p> <p>・結果だけ考えるのではなく、保育の過程を大切にしながら、保育実践や子どもの記録の方法を検討する。</p> <p>・子どもの思いに耳を傾け、子どもの姿を読み取る方法を学び合う。自分でやってみたいという意欲と満足感を大切に保育</p> <p>・保育過程から、年齢発達を踏まえた一人ひとりの個人計画をち、保育をする。</p> <p>・保育目標を意識しての保育</p> <p>★子どもの育ちの「見える化」子どもの変化、成長を効果的に伝える「学び・育ちの物語」</p> <p>・PDCAサイクル</p> <p>・テーマに添って毎月実践報告、各クラス評価、園内研修にて中間発表、保護者にむけて報告を行う。</p>	<p>・保育記録の見直しと継続一人ひとりの育ちを大切に個人記録を充実させ、次の年に繋がるようにした。</p> <p>・保育の実践報告で終わっている記録を、子どもの育ち、学びを具体的にとらえられるようにしていった。（楽しかった、嬉しそうだったでおわらないようにどのように保育者が関わって子どもがどうだったかの具体的にしてい</p> <p>・保育者の関わりをエピソード記述のグループワークで、声に出しみんな語り合う場を作った。保育の不安や迷いが解消されたり、他者の保育を振り返り学ぶ機会となった。保育について話し合う事ができた。</p> <p>・子どもの気持ちを受け止めようとしていたり、寄り添った意識が持てるようになってきたが、バラツキが見られる。</p> <p>・クラスの研究を中間発表、保護者への報告発表（懇談会の時に）を行なう</p>
<p>②国、市の方針、環境変化に応じた園の経営</p>	<p>2. 事業成長のための将来的な見通しを持つ。</p>	<p>★会議の充実をはかる。</p> <p>・会議、研修等で得た情報は職員に啓蒙する。</p> <p>・職員会議や保護者への説明を計画性に行う。</p> <p>★保護者アンケート、課題の検討 見直し</p> <p>★学童との交流</p> <p>夏休み期間中に、学童と一緒に遊び子ども同士中からルールを覚えたり、流しそうめんをしたり楽しむ。</p> <p>・学童指導員を交えた情報交換、会議</p>	<p>・8日と10日をヒヤリハットの日としてヒヤリ会議を行なう。</p> <p>・学童会議で意見交換をする（園庭の使用など）</p> <p>・学童会議では、意見交換、情報交換をすることで、こどもをよく見ることが出来るようになった</p> <p>・保護者にアンケートをとり保育の見直し、課題を検討した。</p>
<p>③保護者への積極的な子育て支援</p>	<p>3. 利用者（保護者）と子どもを中心にした子育てをする。</p> <p>地域子育て支援の相談出来る場所、遊ぶ場所を提供する。（地域の中で子育て支援の拠点となる）</p>	<p>★子どもの姿を伝え合い、保護者とコミュニケーションをはかり、信頼関係を築く。</p> <p>・保育参加（誕生会）午後グループ懇談会で保護者と意見交換をし、情報交換を行う。</p> <p>・行事で親子の関わりを伝えていく。</p> <p>・もちつきや豆まき、ひな祭りなどの日本の行事に参加してもらい一緒に触れあいの機会を</p>	<p>・日記と写真を掲示する。</p> <p>・おたより、連絡帳、絵本を通じて家庭との連携を図り、共に育てるを行なう。</p> <p>・保護者のグループ懇談会は、少人数で情報意見交換の場になっていった。記録を職員で共有した。</p>

		<ul style="list-style-type: none"> もつ。 ★子育て支援びよびよクラブ活動 ・子育ての相談や、同年齢と遊びの機会を設け保護者同士の輪を広げる。 ・離乳食教室 栄養相談 園庭解放 ・親子で保育体験参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・びよびよクラブ活動 (4月～9月) 子育て相談件数 23件 利用者数 199組 (延べ) (10月～3月) 子育て相談件数 20件 利用者数 202組 (延べ)
④保育環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・4. 子どもの過ごしやすい環境を常に考え、たくさんの人とかかわり生活体験をする。 ・園の存在や目的をアピールすると共に、連携を図って地域の育児力を高める役割を担う。継続して、マニュアル、備品等の整備を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ★備品管理 ★中長期計画を職員に周知する ★職員の役割と連携の確立 ・マニュアルの見直しと保護者へ情報提供 ・事故ヒヤリハットの確認検証 ★人との関わり経験をしていく中で、感謝の気持ちに触れ思いやり保育につなげてく。 ・自治会の触れあいいきいきサロンへ参加 ・地域のお祭りや行事に鼓隊参加 ★遊び場の検討 森の整備 ★地域の防災訓練への参加 協力体制を作る 	<ul style="list-style-type: none"> ・中堅リーダーと係のリーダーが中心となり、チューターと共に現場で課題となっている事を取り組んで解決している。中長期の見直しが出来なかった。 ・地域や自治会への参加で積極的な関わりをもつ事ができた。 ・となりの特別養護老人ホームと継続的な関わり訪問を持続して交流を楽しむことができた。 ・森の入り口にフェンス門を設置し、夏祭りの時に、親子で散策を楽しむ。
⑤働きやすい環境づくり 職員の確保・育成 幼稚園免許の取得、更新	<ul style="list-style-type: none"> ・5. 職員一人ひとりが意識をして、働きやすい職場環境を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ★個人目標をもち、研修に参加する。 ★業務の省力化を心掛け、職員間での情報の共有化をはかる ・研修報告会を行い、学びを共有する。 ・自己チェックと評価 ・担当業務の内容や当番の見直しを行い、みんなでの共通意識をもち、それぞれに役割をを果たす ・市野との人事交流 情報交換 ・感染症救急研修 ・経験年数に応じた保育研修と実践 	<ul style="list-style-type: none"> ・危機管理研修を実施(10/11)。リスクマネージャー養成をした主任が中心となり、職員に学びを報告。次回より園内研修の課題にあげる。 ・市野与進保育園との人事交流 ・研修委員を中心に園内研修を考えて行なった。 ①救急法子どもの怪我の研修 ②感染症研修 ③メンタル研修 ④エピソード記述の意見交換
⑦経営の把握と無駄の排除	<ul style="list-style-type: none"> ・6. 保育の見える化、強みや課題を明確にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ★節電節約 使用状況と昨年比をグラフにして、自分たちができる節電を考え実行する。 ・広告の白い紙の利用 裏紙使用 ・トイレの電源 ★管理者が経営状況の把握 	<ul style="list-style-type: none"> ・電気や水道代の使用量を見ながら節電等呼びかけた。 ・保育の廃材料等は、家庭に協力を呼びかけ、快く協力してくれた。
⑧タイムリーな情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・7. 保育の実践に込められた願い、ホームページを広げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ★HP委員会 職員に伝達 ★合同就職会に中堅職員を参加 ★エピソード記録を園便りで保護者に伝えたりする 	<ul style="list-style-type: none"> ・HP委員会中心にHP作成公開 (8/19) 更新が、係まかせになりスムーズに進まなかった。
⑨環境を守る取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・8. 食育やエコ活動を通じて 生きることの基本を学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ★エコ問題の取り組み、働き掛け (マイ箸等) ゴミの分別 ★花壇の苗うえ 雨水を使用した水やり ★砂場の木陰造り ★芝生の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーンバンク芝生事業を実施夏の日照時間が少なく、うまく緑化できなかった。来年度は、引き続き、芝生管理を行なう。 事業費 1,735,560(1,500,000補助)
⑩新しい地域貢献活動の実践	<ul style="list-style-type: none"> ・9. 自分達のできることをみつける。 	<ul style="list-style-type: none"> ★継続的な震災に対しての寄付 ひまわり運動 ★地域活動室の活動充実 (地域の方と利用) 	<ul style="list-style-type: none"> ・課外活動で地域活動室を利用している。

＊平成26年度 意見・苦情・要望について＊

- ①H26.6 駐車場のスペースがなく、車の前に停めたら他の保護者が出られなくなったとトラブルになった。→スペースの確保とスムーズな引き渡しを呼びかけた。
- ②H26.10 帰宅すると体操服の背中にマーカーでラインが描かれていた。園から何の連絡もない。→謝罪、保育士の姿勢に疑問を持ち、不信感に繋がったといえる。引き渡し時の伝達方法を再確認して、保護者に提示、納得して頂いた。
- ③H27.2 妹の怪我で受診の連絡をしたところ、一年前の兄の怪我の時には謝罪もなかった。小さい子だけ受診するのか?→園の対応についての差が疑問を持たせてしまった。周知すべき事項の把握をして、小さな怪我也記録をすることにした。
- ④H27.2 保育園として新人保育士の対応時、決め事、サポート体制は整っているのか心配。→面談、ケースの場合を確認した。